

# ほうじん さかりこ



発行所

酒田市中町二丁目4番1号

社団法人 酒田法人会

TEL 26-4772 FAX 26-4788

URL <http://www3.ocn.ne.jp/~s.houzin>

E-mail [s.houzin@jeans.ocn.ne.jp](mailto:s.houzin@jeans.ocn.ne.jp)

● あたらしい時代の経営者へ 法人会 ●

— 社団法人 酒田法人会  
第28回通常総会 —

## 平成21年度事業方針決まる!

去る五月二二日(金)、ベルナル酒田を会場に当会第二八回通常総会が開催され、議案は提案通り可決・承認され、今年度の事業方針が確定致しました。

前田会長は挨拶の中で、未曾有の厳しい環境に係わらず会員拡大にご尽力頂いたことへの深い感謝とともに、「特例民法法人」になった現在、新組織への転換に向けて、会員各位の変わらぬ協力を強く求めました。

恒例により、議事に先立って平成二〇年度の表彰式が行われ、この一年の軌跡に見合っ、例年になく多数の功労者に対し、表彰楯と記念品が贈られました。(別掲)

今年度の課題は、「平成二一年度事



挨拶する前田会長

業方針の骨子」(別掲)で報告の通りであります。今年度は任期満了に伴う役員改選期に当たり、理事五人・監事一人を新任し、引き続き前田会長を陣頭に新体制(別掲)の下で、原点である「税」に関する諸活動を基軸に据えて、新たなスタートが切られました。なお、今総会を以って、当会理事をご勇退の新田嘉一氏(株平田牧場)と佐藤茂氏(酒田米菓株)の両氏に対し、感謝状が贈呈されました。

総会終了後、引き続き公開の記念講演会が開催されました。講師には、元NHK記者でフリージャーナリストの小林和男氏をお迎えし、「プーチン首相のロシアと日本」と題して講演頂きました。(別掲)

### 功労者表彰の方々

#### 1) 永年勤続功労役員表彰

- 小林 元雄 荘内振興(株)
- 後藤 毅 荘内証券(株)
- 畠中 昭治 日之出石油(株)
- 児玉 健一 (株)エコー

#### 2) 会員増強運動功労者表彰

- 大場 弥市 大場建設(株)
- 阿曾 信幸 酒井鈴木工業(株)
- 五十嵐 亮 日新開発(株)
- 伊藤 功 林建設工業(株)
- 西村 慶治 西村鉄工(株)
- 斉藤 昇 (有)昇写真館
- 金内 勝彦 (株)キャドウイング
- 広瀬 敏勝 荘内防災工業(株)
- 阿部 孝志 阿部建設(株)

#### 3) 会員増強目標達成地区表彰

- 北部地区 (地区長 池田 求)
- 中央上地区 (地区長 五十嵐 亮)
- 東部地区 (地区長 西村 慶治)
- 八幡地区 (地区長 阿部 孝志)

#### 4) 研修会等事業推進者表彰

- 池田 香 (有)不二
- 藤井 卓夫 (有)藤井教材社
- 壹岐 公人 庄内空港ビル(株)
- 水田 方一 酒田天然瓦斯(株)



研修会等事業推進者の皆さん



会員増強目標達成地区長の皆さん



会員増強運動功労者の皆さん

# 平成21年度 事業方針の骨子

\*第28回通常総会議案に沿って可決・承認された内容を「報告致します」

今年度は、「特別民法法人」として「公益認定」に向けて、

全法連および山形県連の動向を見定めながら、慎重に対応していくこととなりました。

## 税制改正に向けた取組み

全法連は、「平成二二年度税制改正に関する提言」を一〇月開催予定の全国大会に向けて取り纏める方針であり、当会としても税制委員会を中心に、県連を通じて意見反映に努めて参ります。昨今は税制改正以前の社会・経済の構造変化に、国の仕組みが追いついていない観が否めませんが、中小企業の活力が国の基盤を支えているとの認識に立って、粘り強く取組む必要があります。

## 新組織への転換に向けて

昨年十二月一日以降、当会も自動的に「特別民法法人」となりました。移行猶予期間が五年を切った訳で、一两年中には「新組織」への移行が必要になります。組織と会計の一元化は既に目途が付きましたし、活動実態からしても問題はないものと判断しておりますが、主務官庁たる税務署から、県の「公益認定等委員会」との新たな関係となることから、提出する書類の書式に始まり、運用ソフトの構築まで、結構時間を要するものと考えられます。全法連の申請時期が当初方針より遅れていることに鑑み、総務委員会を中心に慎重に検討して参ります。具体的には、定款の見直し・公益事業比率の明示（過半はクリアしているものの数値としてどう明示できるか?）・関連帳票の整備であります。

## 組織強化の取組み

昨年度は、「地区運営」に組織を一元化した初年度であり、地域活動の重視を心掛けてきました。具体的には「地区役員会」の定期開催を目指し、開催時期・内容の早期伝達と、人的ネット



ワークの重視を図ってきました。事業環境の厳しさと相俟って、会員相互の連携を図るに難しい局面にあり、思い通りとは行かないことは当然ながら、いくつかの可能性を見出せた一年でありました。また、「酒田ふれあい商工会」の発足で、遊佐町商工会と合わせ、改めて相互に会員登録を行い、共催事業の企画・参加も積極的に行うことと致しました。

今年度、新役員体制の下で、「地域貢献」できる組織として、周囲の知名度・認知度を高めつつ、「会員の集いの場」となるよう、皆さんの協力を仰ぐものです。

公開講演会・研修・講習会を通じ、延べ二千三百名余りの参加者を得ましたし、とりわけ十一月の「税を考える週間」での記念講演会（加賀美幸子氏「こころを動かす言葉」）では、会場一杯・七百名超の聴衆で埋まりました。如何に会員のニーズに心え得るかが大切であり、そこから新たな組織強化の芽が出てくるものと考えます。

## 情報化社会への対応

e-Taxの活用促進に協力する立場で、「Web化促進委員会」を中心に調査・啓蒙活動に取組んできました。昨年九月に内閣府が発表した「オンライン利用拡大行動計画」によれば、国税のみならず政府全体として、「電子政府」を目指し登記・社

会労働保険・その他の申請・手続業務を、平成二一年度から三年間に集中的に取り組むことになつております。それに伴って、国税業務の電子化目標も見直され、平成二二年度末・六五%と設定されました。酒田税務署管内の本年三月末実績は、ほぼ順調に推移しておりますが、見直し目標値はかなり高いものと思われ

ます。一方、県税の電子化と今年度酒田市も準備に入っている、e-Tax（地方税ポータルシステム）にも、地方税務行政全般の効率化の観点から、協力していくこととします。

当会としては、ホームページのリニューアルと会員各社のホームページのリンクを積極的に進め、「ネット交流の場」を充実するとともに、各種情報伝達にWeb活用の環境造りに努めたいと考えます。また、新たに「Web化促進委員会」を中心に、急速に進展するハイテク技術やIT技術の最新情報の受け皿を検討することとし、高度情報化の流れに遅れることなく、税務業務の円滑な運営に寄与したいと考えます。

## 税知識・実務修得と社会貢献

定例の決算・新設法人・年末調整の説明会と講習会を、年間計画に基づき、税務当局と連携して実施します。三水会とも連携しながら、経営・法律・ビジ



ネス実務関係のセミナーを実施し、会員の皆さんのニーズに添えつつ、公開講座も織り交ぜて社会貢献にも役立ちたいものと思

また、今年度も「出前租税教室」を市内小学校・四校で六月に実施しました。一月の「税を考える週間」で、これまでの記念講演会に代えて、一月一日（水）夕刻に市民会館を会場に、「吉川よしひろ」（チエロ奏者）による「コンサート&トークステージの夕べ」の開催に向けて準備中であります。（別掲）

## 会員福利厚生取組み

全法連と保険会社三社が開発した「経営者大型保障制度」や「がん保険」等の会員優遇制度について、その有用性を周知し、幹旋普及に努めます。とりわけ庄内地方における「がん罹患率」が全国の中でも一、二を争う位置にあることから、健康管理とともに保険の備えを勧めていきます。



## 平成21・22年度役員体制決まる!!

## ① 本部役員 (理事・監事)

| 役 職   | 氏 名       | 法 人 名                   |
|-------|-----------|-------------------------|
| 会 長   | 前 田 直 己   | 前 田 製 管 (株)             |
| 副 会 長 | 弦 卷 伸     | (株) 弦 卷                 |
| "     | 大 滝 健 二   | (有) 木 村 屋               |
| "     | 滝 井 宗 一   | 滝井生コンクリート(株)            |
| 理 事   | 上 林 直 樹   | (株) 上 林 鉄 工 所           |
| "     | 佐 藤 淳 司   | 東 北 銘 醸 (株)             |
| "     | 大 井 誠 一 郎 | 大 井 建 設 (株)             |
| "     | 佐 藤 悌 夫   | (株) 日 東 軽 金             |
| "     | 平 野 宣     | (株) 平 野 新 聞 舗           |
| "     | 和 島 公     | せんじん商事(株)               |
| "     | 小 林 元 雄   | 荘 内 振 興 (株)             |
| "     | 後 藤 毅     | 荘 内 証 券 (株)             |
| "     | 畠 中 昭 治   | 日 之 出 石 油 (株)           |
| "     | 斎 藤 光 也   | 松 山 車 輜 (有)             |
| "     | 鈴 木 良 博   | (株) み な と               |
| "     | 林 有 一 郎   | 林 建 設 工 業 (株)           |
| "     | 石 井 幸     | (株) 石 井 製 作 所           |
| "     | 羽 田 久 夫   | 羽田スクリーン印刷(株)            |
| "     | 秋 野 明     | 酒田海陸運送(株)               |
| "     | 池 田 求     | (株) 千 代 田               |
| "     | 那 須 良 太   | (株) 共 栄 建 材             |
| "     | 高 橋 幸 雄   | (株) 丸 高                 |
| "     | 上 野 重 征   | (株) ユ ー テ ッ ク           |
| "     | 阿 部 孝 志   | 阿 部 建 設 (株)             |
| "     | 加 藤 聡     | 加 藤 総 業 (株)             |
| "     | 水 田 方 一   | 酒田天然瓦斯(株)               |
| "     | 西 村 慶 治   | 西 村 鉄 工 (株)             |
| "     | 加 賀 谷 勝 也 | (株) メ ッ ク カ ガ ヤ         |
| "     | 佐 々 木 雅 晴 | 菊 勇 (株)                 |
| "     | 大 場 弥 市   | 大 場 建 設 (株)             |
| "     | 井 上 義 裕   | (株) 新 和 設 備             |
| "     | 大 野 省 太 郎 | 東 北 東 ソ ー 化 学 (株)       |
| "     | 鈴 木 信 次   | 酒田共同火力発電(株)             |
| "     | 鈴 木 豊 章   | (株) 庄 内 ク ボ タ           |
| "     | 池 田 健 一   | (株) ふ と ん の 池 田         |
| "     | 今 野 博     | (株) サ カ タ フ ー ズ         |
| "     | 新 田 嘉 七   | (株) 平 田 牧 場             |
| "     | 齋 藤 博 紀   | (株) 齋 藤 農 機 製 作 所       |
| 監 事   | 五 十 嵐 亮   | 日 新 開 発 (株)             |
| "     | 土 田 徹     | (有) マ ネ ジ メ ン ト サ ポ ー ト |

## ② 地区役員 (◎地区長 ○副地区長)

| 地 区   | 氏 名     | 役 職 ・ 法 人 名           |
|-------|---------|-----------------------|
| 北 部   | 池 田 求   | 理 事                   |
|       | 大 場 弥 市 | 理 事                   |
| 駅 東   | 伊 與 田 孝 | 守 屋 機 工 (株)           |
|       | 進 藤 芳 明 | (株) 進 藤 建 築 設 計 事 務 所 |
| 中 央 上 | 五 十 嵐 亮 | 監 事                   |
|       | 池 田 健 一 | (株) ふ と ん の 池 田       |
| 中 央 下 | 斎 藤 俊 一 | (株) さ い と う 精 肉 店     |
|       | 荒 木 照 夫 | (有) 荒 木 米 穀 店         |
| 東 部   | 西 村 慶 治 | 理 事                   |
|       | 中 村 穰   | ハ ク ヨ ウ 電 気 (株)       |

| 地 区 | 氏 名     | 役 職 ・ 法 人 名       |
|-----|---------|-------------------|
| 南 部 | 畠 中 昭 治 | 理 事               |
|     | 広 瀬 敏 勝 | 荘 内 防 災 工 事 (株)   |
|     | 土 門 孝 康 | (株) 最 上 部 品       |
| 河 南 | 庄 司 正 喜 | コ ー ワ (株)         |
|     | 須 藤 重 彦 | (株) 須 藤 製 作 所     |
| 遊 佐 | 那 須 良 太 | 理 事               |
|     | 庄 司 茂 正 | 庄 司 建 設 工 業 (株)   |
|     | 金 子 誠   | 金 子 建 設 (株)       |
| 八 幡 | 阿 部 孝 志 | 理 事               |
|     | 高 橋 正 幸 | 八 幡 燃 料 (株)       |
|     | 小 野 浩 弥 | (有) 一 條 製 材 所     |
| 松 山 | 斎 藤 光 也 | 理 事               |
|     | 富 樫 秀 克 | 富 樫 建 設 (株)       |
|     | 池 田 一 喜 | 松 山 観 光 バ ス (株)   |
| 平 田 | 今 野 博   | 理 事               |
|     | 三 浦 勇 平 | (有) 石 の ミ ウ ラ     |
|     | 佐 藤 達 也 | (株) 庄 内 エ コ ポ リ ス |

## ③ 委員会委員 (◎委員長 ○副委員長)

| 委 員 会       | 氏 名       | 役 職 ・ 所 属           |
|-------------|-----------|---------------------|
| 組 織 委 員 会   | 弦 卷 伸     | 副 会 長               |
|             | 上 林 直 樹   | (北 部 地 区) 理 事       |
|             | 高 橋 幸 雄   | (駅 東 地 区) "         |
|             | 後 藤 毅     | (中 央 上 地 区) "       |
|             | 小 林 元 雄   | (中 央 下 地 区) "       |
|             | 佐 藤 悌 夫   | (東 部 地 区) "         |
|             | 上 野 重 征   | (南 部 地 区) "         |
|             | 加 賀 谷 勝 也 | (河 南 地 区) "         |
|             | 那 須 良 太   | (遊 佐 地 区) "         |
|             | 阿 部 孝 志   | (八 幡 ・ 松 山 ・ 平 田) " |
| 税 制 委 員 会   | 石 井 幸     | 理 事                 |
|             | 岩 井 昭 作   | 三 水 会               |
|             | 阿 部 孝 志   | 理 事                 |
|             | 齋 藤 博 紀   | 理 事                 |
| 総 務 委 員 会   | 池 田 信 也   | 三 水 会               |
|             | 大 滝 健 二   | 副 会 長               |
|             | 佐 々 木 雅 晴 | 理 事                 |
|             | 池 田 求     | 理 事                 |
|             | 阿 部 昭     | 青 年 部 会 O B         |
|             | 斎 藤 英 輔   | 青 年 部 会 O B         |
|             | 堀 米 美 恵 子 | 女 性 部 会             |
|             | 斉 藤 修 一   | 青 年 部 会             |
|             | 本 間 洋 子   | 三 水 会               |
|             | 広 報 委 員 会 | 滝 井 宗 一             |
| 大 井 誠 一 郎   |           | 理 事                 |
| 大 渡 部 博 夫   |           | 青 年 部 O B           |
| 佐 藤 憲 二     |           | 青 年 部 会             |
| 池 田 悦 子     |           | 女 性 部 会             |
| Web 化 委 員 会 | 鈴 木 啓 一 郎 | 青 年 部 会             |
|             | 平 野 宣     | 理 事                 |
|             | 加 藤 聡     | 理 事                 |
| Web 化 委 員 会 | 大 谷 正 樹   | 青 年 部 会             |
|             | 佐 藤 清 人   | 三 水 会               |

# 平成21年度 総合収支予算

自 平成21年 4月 1日  
至 平成22年 3月31日

(単位：円)

| 科 目                 | 予算額                | 前年度予算額             | 増 減              | 備 考             |
|---------------------|--------------------|--------------------|------------------|-----------------|
| ・ 事業活動収支の部          |                    |                    |                  |                 |
| 1. 事業活動収入           |                    |                    |                  |                 |
| (1) 会費収入            | 11,752,000         | 11,000,000         | 752,000          |                 |
| 一般会費収入              | 10,500,000         | 11,000,000         | △ 500,000        |                 |
| 部会会費収入              | 1,252,000          | 0                  | 1,252,000        | 青年部会・女性部会・三水会会費 |
| (2) 事業収入            | 3,000,000          | 1,300,000          | 1,700,000        | 講習会・行事参加料等      |
| (3) 補助金収入           | 3,634,400          | 3,791,000          | △ 156,600        | 全法連・県連補助金       |
| 全法連補助金収入            | 3,384,400          | 3,438,000          | △ 53,600         |                 |
| 県連補助金収入             | 250,000            | 353,000            | △ 103,000        |                 |
| (4) 推進費収入           | 3,392,600          | 3,558,000          | △ 165,400        | 全法連推進費          |
| (5) 雑収入             | 388,000            | 100,000            | 288,000          | 3部会繰入金・祝金・利子収入等 |
| (6) 繰入金収入           | 0                  | 0                  | 0                |                 |
| 事業活動収入計             | <b>22,167,000</b>  | <b>19,749,000</b>  | <b>2,418,000</b> |                 |
| 2. 事業活動支出           |                    |                    |                  |                 |
| (1) 事業費             | 13,838,000         | 12,015,000         | 1,823,000        |                 |
| 研修会費                | 3,103,000          | 1,600,000          | 1,503,000        | 講師謝礼・会場費等       |
| 社会貢献活動費             | 300,000            | 300,000            | 0                |                 |
| 広報費                 | 1,005,000          | 1,000,000          | 5,000            | 会報・広告等          |
| 会議費                 | 1,000,000          | 1,240,000          | △ 240,000        | 総会・理事会・委員会等     |
| 会員関係費               | 550,000            | 600,000            | △ 50,000         | 法人会シール印刷費等      |
| 部会活動費               | 0                  | 760,000            | △ 760,000        | (青年部会・女性部会・三水会) |
| 組織強化費               | 1,300,000          | 1,515,000          | △ 215,000        | 組織合同会議・地区役員会等   |
| 調査研究費               | 150,000            | 0                  | 150,000          | 上部団体研修参加等       |
| 渉外費                 | 800,000            | 0                  | 800,000          | 上部団体・他団体会費・共催金等 |
| 事業給与費               | 4,500,000          | 0                  | 4,500,000        | 事業費相当給与費        |
| 福利厚生費               | 630,000            | 0                  | 630,000          | 事業費相当           |
| 事業推進費               | 0                  | 4,500,000          | △ 4,500,000      | (事業運営・関係団体負担金等) |
| 周年行事事業費             | 500,000            | 500,000            | 0                | 女性部会設立15周年      |
| (2) 管理費             | 10,452,000         | 9,200,000          | 1,252,000        |                 |
| 給与費                 | 3,500,000          | 3,500,000          | 0                | 給料・手当           |
| 福利厚生費               | 500,000            | 1,130,000          | △ 630,000        | 法定社会保険料         |
| 会議費                 | 1,272,000          | 0                  | 1,272,000        | 交流会議等           |
| 旅費交通費               | 1,160,000          | 650,000            | 510,000          | 出張旅費等           |
| 通信費                 | 655,000            | 640,000            | 15,000           | 電話・FAX          |
| 消耗品費                | 225,000            | 220,000            | 5,000            | 事務用消耗品          |
| 印刷費                 | 160,000            | 130,000            | 30,000           | 印刷・コピー代         |
| 事務所費                | 2,500,000          | 2,500,000          | 0                | 事務所賃借料・用力費      |
| 雑費                  | 380,000            | 330,000            | 50,000           | 振込手数料等          |
| 租税公課                | 100,000            | 100,000            | 0                | 法人税等            |
| (3) 繰入金支出           | 0                  | 0                  | 0                |                 |
| 事業活動支出計             | <b>24,290,000</b>  | <b>21,215,000</b>  | <b>3,075,000</b> |                 |
| 事業活動収支差額 A          | <b>△ 1,223,000</b> | <b>△ 1,466,000</b> | <b>△ 657,000</b> |                 |
| ・ 投資活動収支の部          |                    |                    |                  |                 |
| 1. 投資活動収入           |                    |                    |                  |                 |
| (1) 特定資産取崩収入        | 500,000            | 500,000            | 0                |                 |
| 退職給付引当資産取崩収入        | 0                  | 0                  | 0                |                 |
| 周年行事引当資産取崩収入        | 500,000            | 500,000            | 0                |                 |
| 投資活動収入計             | 500,000            | 500,000            | 0                |                 |
| 2. 投資活動支出           |                    |                    |                  |                 |
| (1) 特定資産取得支出        | 600,000            | 400,000            | 200,000          |                 |
| 退職給付引当資産取得支出        | 427,000            | 366,400            | 60,600           |                 |
| 周年行事引当資産取得支出        | 173,000            | 33,600             | 139,400          |                 |
| 投資活動支出計             | 600,000            | 400,000            | 200,000          |                 |
| 投資活動収支差額 B          | <b>△ 100,000</b>   | <b>100,000</b>     | <b>△ 200,000</b> |                 |
| ・ 財務活動収支の部          |                    |                    |                  |                 |
| 1. 財務活動収入           |                    |                    |                  |                 |
| 財務活動収入計             | 0                  | 0                  | 0                |                 |
| 2. 財務活動支出           |                    |                    |                  |                 |
| 財務活動支出計             | 0                  | 0                  | 0                |                 |
| 財務活動収支差額 C          | 0                  | 0                  | 0                |                 |
| ・ 予備費支出 D           | 40,210             | 108,737            | △ 68,527         |                 |
| 当期収支差額 E=A+B+C+(-D) | △ 2,263,210        | △ 1,474,737        | △ 788,473        |                 |
| 前期繰越収支差額 F          | 2,263,210          | 1,474,737          | 788,473          |                 |
| 次期繰越収支差額 E+F        | 0                  | 0                  | 0                |                 |

\* 註 今年度から「会計一元化」で青年部会・女性部会・三水会の会計を統合いたしました。

# 平成20年度 総合収支計算書

自 平成20年 4月 1日  
至 平成21年 3月31日

(単位：円)

| 科 目                 | 予算額                | 決算額               | 差 異                | 備 考           |
|---------------------|--------------------|-------------------|--------------------|---------------|
| ・ 事業活動収支の部          |                    |                   |                    |               |
| 1. 事業活動収入           |                    |                   |                    |               |
| (1) 会費収入            | 11,000,000         | 11,302,500        | △ 302,500          |               |
| (2) 事業収入            | 1,300,000          | 1,711,693         | △ 411,693          | 講習会・行事参加料等    |
| (3) 補助金収入           | 3,791,000          | 3,791,300         | △ 300              | 全法連・県連補助金     |
| 全法連補助金収入            | 3,438,000          | 3,438,100         | △ 100              |               |
| 県連補助金収入             | 353,000            | 353,200           | △ 200              |               |
| (4) 推進費収入           | 3,558,000          | 3,557,900         | 100                | 全法連推進費        |
| (5) 雑収入             | 100,000            | 229,448           | △ 129,448          | 祝金・利子収入等      |
| (6) 繰入金収入           | 0                  | 0                 | 0                  |               |
| 事業活動収入計             | <b>19,749,000</b>  | <b>20,592,841</b> | <b>△ 843,841</b>   |               |
| 2. 事業活動支出           |                    |                   |                    |               |
| (1) 事業費             | 12,015,000         | 11,291,783        | 723,217            |               |
| 講習会費                | 1,600,000          | 1,597,338         | 2,662              | 講師謝礼・会場費等     |
| 社会貢献活動費             | 300,000            | 300,000           | 0                  |               |
| 広報費                 | 1,000,000          | 836,336           | 163,664            | 会報・広告等        |
| 会議費                 | 1,240,000          | 1,095,215         | 144,785            | 総会・理事会・委員会等   |
| 会員関係費               | 600,000            | 467,025           | 132,975            | 法人会シール印刷費等    |
| 部会活動費               | 760,000            | 750,000           | 10,000             | 青年部会・女性部会・三水会 |
| 組織強化費               | 1,515,000          | 1,286,122         | 228,878            | 組織委員会・地区役員会等  |
| 事業推進費               | 4,500,000          | 4,459,915         | 40,085             | 事業運営・関係団体負担金等 |
| 周年行事事業費             | 500,000            | 499,832           | 168                | 青年部会15周年      |
| (2) 管理費             | 9,200,000          | 8,612,585         | 587,415            |               |
| 給与費                 | 3,500,000          | 3,500,000         | 0                  | 給料・手当         |
| 福利厚生費               | 1,130,000          | 1,021,695         | 108,305            | 法定社会保険料       |
| 旅費交通費               | 650,000            | 602,024           | 47,976             | 出張旅費等         |
| 通信費                 | 640,000            | 529,478           | 110,522            | 電話・FAX        |
| 消耗品費                | 220,000            | 208,460           | 11,540             | 事務用消耗品        |
| 印刷費                 | 130,000            | 56,580            | 73,420             | 印刷・コピー代       |
| 事務所費                | 2,500,000          | 2,309,515         | 190,485            | 事務所賃借料・用力費    |
| 雑費                  | 330,000            | 312,833           | 17,167             | 振替手数料         |
| 租税公課                | 100,000            | 72,000            | 28,000             | 法人税等          |
| (3) 繰入金支出           | 0                  | 0                 | 0                  |               |
| 事業活動支出計             | <b>21,215,000</b>  | <b>19,904,368</b> | <b>1,310,632</b>   |               |
| 事業活動収支差額 A          | <b>△ 1,466,000</b> | <b>688,473</b>    | <b>△ 2,154,473</b> |               |
| ・ 投資活動収支の部          |                    |                   |                    |               |
| 1. 投資活動収入           |                    |                   |                    |               |
| (1) 特定資産取崩収入        | 500,000            | 500,000           | 0                  |               |
| 退職給付引当資産取崩収入        | 0                  | 0                 | 0                  |               |
| 周年行事引当資産取崩収入        | 500,000            | 500,000           | 0                  |               |
| 投資活動収入計             | 500,000            | 500,000           | 0                  |               |
| 2. 投資活動支出           |                    |                   |                    |               |
| (1) 特定資産取得支出        | 400,000            | 400,000           | 0                  |               |
| 退職給付引当資産取得支出        | 366,400            | 366,400           | 0                  |               |
| 周年行事引当資産取得支出        | 33,600             | 33,600            | 0                  |               |
| 投資活動支出計             | 400,000            | 400,000           | 0                  |               |
| 投資活動収支差額 B          | <b>100,000</b>     | <b>100,000</b>    | <b>0</b>           |               |
| ・ 財務活動収支の部          |                    |                   |                    |               |
| 1. 財務活動収入           |                    |                   |                    |               |
| 財務活動収入計             | 0                  | 0                 | 0                  |               |
| 2. 財務活動支出           |                    |                   |                    |               |
| 財務活動支出計             | 0                  | 0                 | 0                  |               |
| 財務活動収支差額 C          | 0                  | 0                 | 0                  |               |
| ・ 予備費支出 D           | 108,737            | 0                 | 108,737            |               |
| 当期収支差額 E=A+B+C+(-D) | △ 1,474,737        | 788,473           | △ 2,263,210        |               |
| 前期繰越収支差額 F          | 1,474,737          | 1,474,737         | 0                  |               |
| 次期繰越収支差額 E+F        | 0                  | 2,263,210         | △ 2,263,210        |               |

第二八回通常総会 記念講演会

「プーチン首相のロシアと日本」

講師／ジャーナリスト 小林 和男氏

今回のプーチン首相の来日は、五月一二日午前二時というタイトな日程の中で、「プーチンと柔道の心」という本の出版記念パーティーで会うことができた。彼曰く、世界全体を愛することは簡単だ。しかし、隣国と仲良くすることは難しい。また、日本はすごい！資源もないのに、輸出で世界に冠たる経済大国となっている。知識・技術・文化を輸出することで、立派に成立っている……と。



彼の胸中には、隣国問題があることと、ロシアは資源が元手で金が入ってくるが、国の成立の基本に、「文化」を据える決意であると見てとれた……と前において講演に入った。日本人にとって、戦後中立条約を破って攻めてきたロシアの評判は良くない。十分な取材に基づかないマスコミ報道が、これに輪を掛けている。ロシアは何と言っても大国、是非とも本日の話が、目からウロコとなっていたらと幸いだ。まずは、メドベージェフ大統領との二人の関係についてと、次に日本の関係について触れる。大統領は、大学・KGBともに、

プーチンの後輩に当たり、大統領に就任して、「プーチン路線の継承」を宣言している。ロシア国民は、プーチンの手法（政策）で、政治の力を知った。それまでの混乱は、政府と政商が国を牛耳り、経済を混乱させた。パンの値段が、一晩で五〇〇倍に。また新貨幣切替で、富の偏在を来たした。プーチンが登場し、その八年間で国民の実質賃金が一〇～二〇%も上昇し、一気に信頼を回復した。金が国民・庶民に回る。外貨準備高で、一〇〇億ドルから、八年間で五六倍まで達した。現在、外貨保有で中国・日本に次いで第三位にロシアが位置づけられる。

どうしてそんなことが出来るか？

第一に、「国益」のために国際情勢をうまく使うという手法。具体的には、政権に就いて二年目に対独負債を一八分の一に減らした。エネルギー戦略を以って、国民の支持を大きく勝ち得る結果になった。

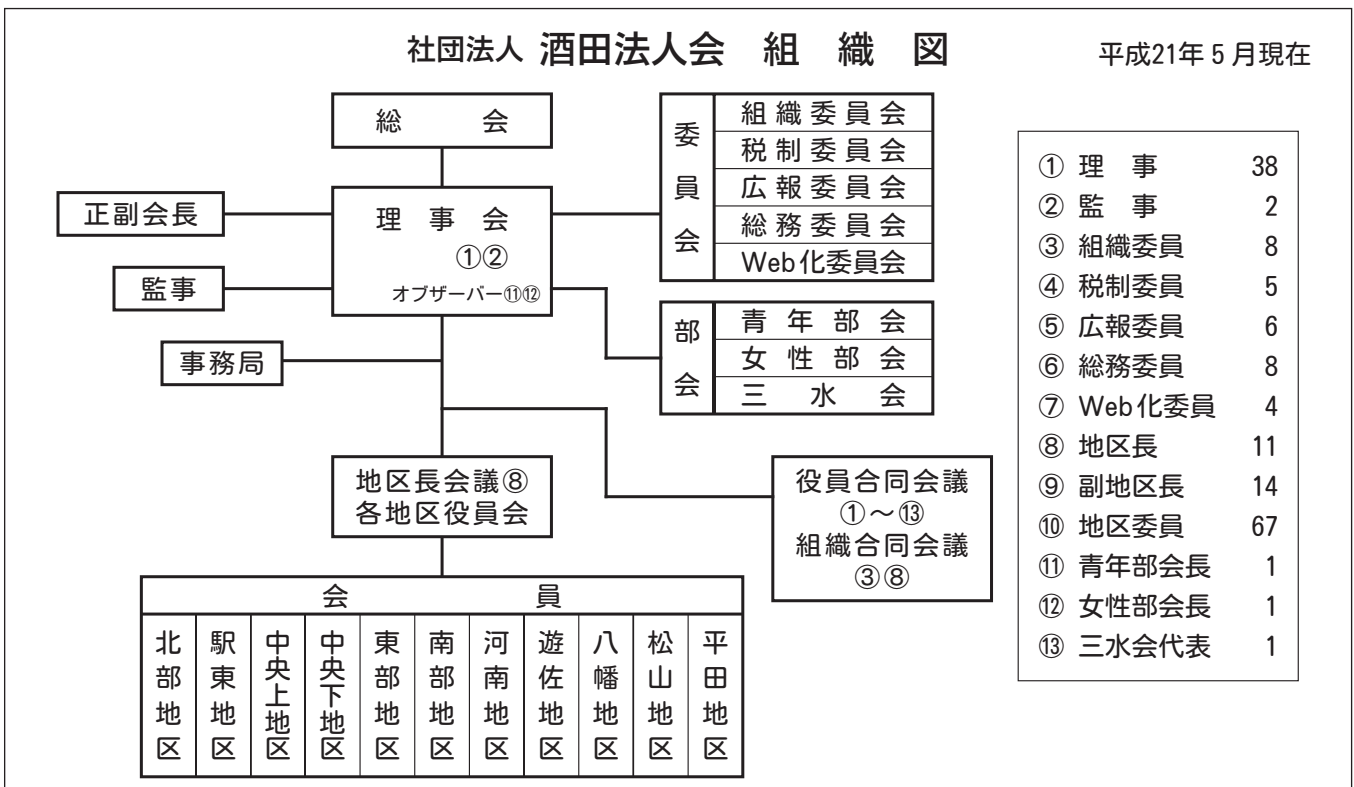
第二に、非常に長い目で布石を打っていること。三年・五年経って、その凄さが分かる。政商から国家資産を取り戻し、国営化して実質賃金の上昇に貢献した。石油・天然ガスの新パイプラインの敷設で、ヨーロッパとの関係が急接近している。冷戦崩壊から二〇年。米国・オバマ政権の誕生で、その残滓から漸く脱出の兆しが伺われる。

プーチンの人間性に触れると、「柔道」との出会いが、不良・短気であった彼を変えた。首相公邸に道場を持ち、「修身」を学び、スポーツの域を越えた「哲学」として捉えている。「法に従ってやれ！」と機会あるごとに言っているようだ。プーチンを嫌いでいいが、国民の支持率が六〇%を下らないことの意味を考えるべきだ。

日本海は、地図を引っ張り返すと、「一衣帯水」で、大陸から見て「湖」に見える。酒田は港として、誠に好位置にありこれからの発展に期待したい。…と結んだ。

社団法人 酒田法人会 組織図

平成21年5月現在





# 第16回 青年部会 通常総会

青年部会は、この一年の活動総括と新年度の事業計画を確立するため、東急プラザを会場に四月二三日(木)、通常総会を開催しました。

昨年度、設立一五周年を迎えたことから、ささやかな祝賀会を開催した他、記念植樹を行いました。課題の会員拡大に注力



新役員体制決まる！



新会員のみなさん



大谷部会長

の結果、世代交代期で減員傾向の中、九名の新入会員を迎えたことは、大いに評価できるといえます。社会貢献事業としての

# 第15回 女性部会 通常総会

去る四月二八日(火)、女性部会の通常総会は、ホテルリッチ&ガーデン酒田を会場に、設立一五年を迎えての開催となりました。

この一年、四月の総会以降、「役員会」を中心に四つの委員会が事業の企画・立案を分担し、



大泉部会長

「出前租税教室」や企業訪問、そして税務セミナーと継続課題に積極的に取組み、共催事業と合わせ酒田法人会の事業推進力として、遺憾なくその組織力を発揮しました。

今年度は、役員改選期で二・二二年度の役員体制が確立し、大谷部会長の二期目がスタートしました。新年度もこれまでの事業の継続と組織拡大に努力することとなりました。



総会風景

「組織的に活動する」ことをみんまで考え、実行してきた年でした。具体的には、臨時も含めて、六回の役員会を開催し、各委員会がテーマを決めて実施した、課外研修・絵手紙教室・裁判員制度・新年の集いは、これまでになく多数の参加を得て、大変好評であったと評価されました。

今年度は、役員改選の年で二・二二年度の新体制を確立し、

# 平成21年度 三三水会 通常総会

四月例会に合わせて、四月一五日(水)に三水会の通常総会が開催されました。

「年間事業計画」に沿って、税務・財務・経理の専門分野はいうに及ばず、経営課題や労務・

「年間事業計画」のテーマも決まり、順調なスタートを切りました。また、親会の「公益認定」に向けた「会計の一元化」に合わせ、収支予算の書式は変わるものの、活動の主体性を今後とも尊重しつつ、「出前租税教室」等の社会貢献・共催事業にも積極的に取組むことを申し合わせました。



総会風景

役員改選では、代表幹事の交代で、池田信也氏が選任されました。

## 当面の日程

(研修会・公演会)

7月23日(木) 14時～  
「負の連鎖から会社を守れ！」  
鈴木健介氏

9月9日(水) 14時～  
「これが中小企業の  
キャッシュフロー経営」  
近藤信氏

9月16日(水) 14時～  
「公共ITサービス  
(電子政府)活用術」  
阿部満氏

11月11日(水) 18時30分～  
「心に響くコンサート&トーク」  
吉川よしひろ氏